

作成日 2003年 7月22日  
改訂日 2022年 8月31日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名	アルサワー
品名	アルサワーA
会社名	株式会社 アルボース
住所	大阪市中央区備後町2-4-9 (日本精化ビル)
電話番号	06-6204-4466 FAX番号 06-6204-1400
記載内容問合せ 及び緊急連絡先	06-6414-1055 (研究開発センター)
整理番号	AH-01

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分2
健康有害性	: 急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	: 急性毒性 (経皮)	分類できない
	: 急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
	: 急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
	: 急性毒性 (吸入: 粉じん及びミスト)	区分に該当しない
	: 皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	: 呼吸器感作性	分類できない
	: 皮膚感作性	分類できない
	: 生殖細胞変異原性	分類できない
	: 発がん性	分類できない
	: 生殖毒性	区分1A
	: 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分3 (気道刺激性、 麻酔作用)
	: 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1 (肝臓) 区分2 (中枢神経系)
環境有害性	: 誤えん有害性	分類できない
	: 水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
	: 水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
	: オゾン層への有害性	分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体及び蒸気  
眼刺激  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肝臓)の障害  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系)の障害  
のおそれ

注意書き

：【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。  
 -禁煙。  
 容器を密閉しておくこと。  
 容器を接地すること/アースをとること。  
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。  
 火花を発生させない工具を使用すること。  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 取扱い後は手をよく洗うこと。  
 ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急措置】

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
 火災の場合：消火するために適切な方法をとること。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。容器を密閉しておくこと。  
 施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	：混合物	
化学名又は一般名	：アルコール製剤（食品添加物）	
成分及び含有量	：成分	含有量（%）
	エタノール	65～75重量
	水、その他成分	非公開

4. 応急措置

吸入した場合	：直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にする。ひどい場合は、直ちに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：流水で洗い流す。
眼に入った場合	：水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 清浄な水で数分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
飲み込んだ場合	：すぐにコップ1～2杯の牛乳または水を飲ませ、誤飲したものを薄めたり食道や粘膜を保護する。無理に吐かせてはいけない。嘔吐や下痢症状が激しかったり様子がおかしい場合は医師に相談する。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 霧状水、粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 消火作業は可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出時の処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。  
保護具及び緊急時措置 : こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出源を遮断し、漏れをとめる。  
少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。  
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

- : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。  
取扱いについては、火気のない換気のよい場所で行う。

#### 安全取扱い注意事項

- : みだりに火気その他点火源となる恐れのあるものに近接させ、若しくは注ぎ蒸発させ、又は加熱しないこと。取り扱う場所を常に整理整頓し、その場所に可燃性のもの、又は酸化性のものを置かないこと。

### 保管

#### 安全な保管条件

- : 保管は通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。また、火気その他危険な場所から遠ざけ通風をよくし、温度、湿度、遮光に注意し、密栓して、冷暗所に保管する。  
消防法の第1類及び第6類の危険物との混合貯蔵は禁止。また、非危険物との混合貯蔵については、原則禁止であるが、例外として危険物以外の可燃性個体類または可燃性液体類とを貯蔵する場合は、それぞれをとりまとめて貯蔵し、かつ相互に1m以上の間隔を置く場合には、貯蔵することができる。  
幼児の手の届かないところに保管する。

#### 安全な容器包装材料

- : 専用の容器以外は使用しない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策

- : 取扱い場所の近くに水洗、洗顔設備を設ける。  
取扱いについては、火気のない換気のよい場所で行う。

### 管理濃度

- : 設定されていない。

### 許容濃度

- : ACGIH TWA 1,000ppm (エタノール)

### 保護具

#### 呼吸器用保護具

- : 必要に応じてマスクなどを着用

#### 手の保護具

- : 保護手袋

#### 眼の保護具

- : 保護メガネ

#### 皮膚及び身体の保護具

- : 保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: アルコール臭
融点/凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: (エタノール分100%として) 上限19.0 vol% 下限3.3 vol% (空气中)
引火点	: (エタノール分100%として) 13℃ (密閉式)
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 7.5
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 水に良
n-オクタノール/水分配係数 (log値)	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度 (比重) 及び/または相対密度	: 0.88 (15℃)
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常条件で安定。
化学的安定性	: 通常条件で安定。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 熱、高温のもの、火花等の着火源の付近、高温下での保管、開放状態。
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

## 11. 有害性情報

当該製品のデータが無いため、配合成分の混合物として、GHS分類した。

## 急性毒性

経口	: 加算式判定の結果、区分に該当しないとした。 (アルコール分100%として) ヒト (経口) ; LD <sub>50</sub> 1,400 mg/kg ラット (経口) ; LD <sub>50</sub> 13,700 mg/kg
経皮	: 参照データが少ないため、分類できないとした。
吸入 (気体)	: GHSの定義における液体であるため、区分に該当しないとした。
吸入 (蒸気)	: 参照データが少ないため、分類できないとした。
吸入 (粉じん/ミスト)	: GHSの定義における粉じん及びミストには該当しないため、区分に該当しないとした。
皮膚腐食性/刺激性	: 参照データが少ないため、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 加算式判定の結果、区分2Bとした。 目刺激
呼吸器感作性	: 参照データが少ないため、分類できないとした。
皮膚感作性	: 参照データが少ないため、分類できないとした。
生殖細胞変異原性	: 参照データが少ないため、分類できないとした。
発がん性	: 参照データが少ないため、分類できないとした。
生殖毒性	: 加算式判定の結果、区分1Aとした。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 加成性判定の結果、区分3 (気道刺激性、麻酔作用) とした。 呼吸器への刺激のおそれ 眠気又はめまいのおそれ
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 加成性判定の結果、区分1 (肝臓)、区分2 (中枢神経系) とした。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (肝臓) の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (中枢神経系) の障害のおそれ
誤えん有害性	: 参照データが少ないため、分類できないとした。

1 2. 環境影響情報

生体毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

また、当該製品のデータが無いため、配合成分の混合物としてGHS分類した。

水生環境有害性 短期 (急性)	: 参照データが少ないため、分類できないとした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 参照データが少ないため、分類できないとした。

1 3. 廃棄上の注意

: 水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。  
または、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: UN 1170
国連分類	: クラス3
容器等級	: II
国内規制	: 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 消防法による第1類及び第6類の危険物との混載を避ける。 高压ガスとの混載を避ける。 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめて、転倒、落下、損傷がないよう積込み、荷くずれの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

食品衛生法	: 食品添加物	
化学物質排出把握管理 促進法 (PRTR制度)	: 第一種指定化学物質 第二種指定化学物質	該当せず。 該当せず。
労働安全衛生法	: 57条の2 表示対象物質 エタノール 57条の2 通知対象物質 エタノール	65~75%
毒物及び劇物取締法	: 該当せず。	
消防法	: 第4類アルコール類	
化審法	: 特定化学物質・監視化学物質	該当せず。
船舶安全法	: 危規則第3条危険物告示別表第1 引火性液体	
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1 引火性液体類	

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先：株式会社 アルボース  
住所 兵庫県尼崎市道意町7丁目1番3  
尼崎リサーチ・インキュベーションセンター4階  
担当部門 製品研究課  
電話番号 06-6414-1055 FAX番号 06-6414-1065

【注意】

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。  
内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。  
法令の改正及び新しい知見に基づいて改正されることがあります。  
注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。  
すべての化学品には未知の有害性があり得るために、取扱いには細心の注意が必要です。  
ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。  
記載された物性値、含有率などは、製品の一般的な値を示した物で、規格値、保証値ではありません。